

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日  
東

上場会社名 株式会社音通 上場取引所  
 コード番号 7647 URL http://www.ontsu.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,163	0.1	160	△32.5	99	△33.4	3	△94.2
26年3月期第3四半期	13,154	△0.6	237	△39.8	149	△47.1	57	△35.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △22百万円( —%) 26年3月期第3四半期 61百万円(△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	0.02	0.02
26年3月期第3四半期	0.31	0.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,611	3,295	24.9
26年3月期	11,547	3,329	27.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,142百万円 26年3月期 3,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.18	—	0.18	0.36
27年3月期	—	0.18	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.18	0.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,510	0.0	279	5.4	195	26.6	39	115.0	0.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	189,714,645株	26年3月期	188,566,645株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	822,053株	26年3月期	815,953株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	187,961,790株	26年3月期3Q	185,594,718株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、緩やかな回復を続けており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も全体として和らいでおります。個人消費は昨年の消費税率引き上げ直後には大幅な減少となったものの、その後は緩やかな増加を続けている模様です。

このような状況のなか、当社グループの、当第3四半期連結累計期間における売上高は13,163百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は160百万円（前年同四半期比32.5%減）、経常利益は99百万円（前年同四半期比33.4%減）、四半期純利益は3百万円（前年同四半期比94.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①食料品・生活雑貨小売事業

当事業部門は、総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」ならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店直営店舗は、次の17店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月2日	フレッツ神奈川新町店	横浜市神奈川区
平成26年4月16日	フレッツ有野店	神戸市北区
平成26年4月18日	百圓領事館ハイランド店	神奈川県横須賀市
平成26年4月25日	フレッツ甘木店	福岡県朝倉市
平成26年5月15日	フレッツサンディ西田辺店	大阪市阿倍野区
平成26年6月1日	フレッツ伊丹店	兵庫県伊丹市
平成26年7月11日	フレッツ四辻店	千葉県市原市
平成26年7月19日	フレッツ志津店	千葉県佐倉市
平成26年7月25日	フレッツ芝2丁目店	東京都港区
平成26年7月26日	百圓領事館安針塚店	神奈川県横須賀市
平成26年8月30日	フレッツ園田店	兵庫県尼崎市
平成26年10月2日	フレッツ舎人店	東京都足立区
平成26年11月7日	フレッツ姉崎店	千葉県市原市
平成26年11月15日	フレッツ筑後店	福岡県筑後市
平成26年11月29日	フレッツマルエイ新長洲店	熊本県玉名郡
平成26年12月5日	フレッツ佐倉石川店	千葉県佐倉市
平成26年12月13日	フレッツマルエイ六栄店	熊本県玉名郡

また、FC店のフレッツ七松店（兵庫県尼崎市、11月22日）もオープンいたしました。

一方で、フレッツ池田店が契約期間の満了に伴い平成26年4月に、FC店のフレッツ伊丹店が平成26年5月に、百圓領事館春日部店が契約期間満了に伴う母店の閉店のため平成26年7月31日に、また、FC店のフレッツ太子店が平成26年12月にそれぞれ閉店いたしました。

当第3四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」を直営店舗94店舗、FC店舗5店舗、「百圓領事館」を直営店舗32店舗、FC店舗2店舗、「Fマート」を直営店舗4店舗の合計137店舗を運営しております。

店舗運営面におきましては、商品単品の粗利率の改善を進めるとともに、食料品と比較して粗利率の高い雑貨商品の構成比を大きくするなど、品揃えの見直しを計画的かつ継続的に進めております。

しかしながら、売上高は10,162百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は79百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

## ②カラオケ関係事業

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化などにも積極的に取り組んでおります。

また、前事業年度より、得意先が集中する大阪・北新地エリアにおける新たな事業展開として、酒類の即時配達サービスを行う「ヨルクル」をオープンし、既存得意先に対するサービス向上とともに、新規得意先の獲得を目指しております。

しかしながら、売上高は2,196百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

### ③スポーツ事業

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、24時間年中無休のマシンジム特化型のフィットネスである、JOYFIT 24 寺田町（大阪市生野区、6月16日）、JOYFIT 24 玉出（大阪市住之江区、10月27日）をオープンいたしました。

なお、オープンいたしましたこれら2店舗における会員数は、オープン直後から順調に推移しており、早期に当初の目標会員数に到達する見通しであります。

当連結会計年度におきましては引き続き、JOYFIT 24 神戸板宿（神戸市須磨区、2月中旬）のオープンを予定しております。

当事業部門におきましては、スタジオプログラムの質の向上と、自社スタッフのサービスレベルの向上に引き続き取り組んでおります。また、新規入会者を対象としたオリエンテーションを定期的を実施しており、入会後の定着率を高水準で維持しております。

一方で、会員制リフレッシュスペース「My LOUNGE」は、業績不振に伴い店舗を閉鎖いたしました。

この結果、売上高は412百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

### ④IP事業

当事業部門は、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T.O.P. 24h」の運営をしております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅の新規設置はなく、コインパーキング「T.O.P. 24h」の新規出店店舗は、次の14ヶ所133車室であり、当第3四半期連結会計期間末日現在、64ヶ所620車室のコインパーキングを運営しております。

オープン	店舗名称	所在地	オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月1日	上住吉②	大阪市住吉区	平成26年4月12日	浪速西①	大阪市浪速区
平成26年4月1日	天津橋①	大阪市西成区	平成26年4月12日	浪速西②	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江①	大阪市旭区	平成26年4月12日	浪速西③	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江②	大阪市旭区	平成26年4月14日	北畠①	大阪市阿倍野区
平成26年4月9日	生江③	大阪市旭区	平成26年6月3日	南久宝寺①	大阪市中央区
平成26年4月9日	高殿③	大阪市旭区	平成26年7月10日	高井田西①	大阪府東大阪市
平成26年4月12日	鶴見①	大阪市鶴見区	平成26年11月1日	六甲道駅西①	神戸市灘区

コインパーキングの運営におきましては、近隣の競合状況や利用実績などを詳細に分析することにより、価格や時間設定をきめ細かく変更するなどして、ユーザーのニーズに機動的に対応しております。

この結果、売上高は392百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同四半期4百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は12,611百万円(前連結会計年度末比1,064百万円の増加)となりました。

流動資産は5,564百万円(前連結会計年度末比1,274百万円の増加)となりましたが、これは、主として現金及び預金が827百万円、商品及び製品が422百万円増加したことなどによります。

また、固定資産は7,029百万円(前連結会計年度末比201百万円の減少)となりましたが、これは、主として差入保証金が86百万円、建設協力金が58百万円、投資有価証券が52百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は9,316百万円(前連結会計年度末比1,098百万円の増加)となりました。

流動負債は4,421百万円(前連結会計年度末比492百万円の増加)となりましたが、これは、主として、支払手形及び買掛金が432百万円、1年内支払予定の長期割賦未払金が40百万円増加したことなどによります。

また、固定負債は4,894百万円(前連結会計年度末比605百万円の増加)となりましたが、これは、主として長期借入金が347百万円、社債が155百万円、長期割賦未払金が73百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,295百万円(前連結会計年度末比33百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成26年5月9日付の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」により公表いたしました平成27年3月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成26年11月6日公表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社が50.0%出資するジーン株式会社および株式会社PJの重要性が増加したため、持分法の適用の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、当社が44.4%出資する株式会社ディーシェアの重要性が増加したため、持分法の適用の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社の建物及び構築物、賃貸資産(建物及び機械装置)以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法については、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、これまでの設備投資実績ならびに今後の設備投資計画をもとに、有形固定資産の償却方法を見直しました。この結果、有形固定資産が経年しても主たる経済的減価の要因である設備利用度と比例関係にある来店客数が維持されることが見込まれるため、今後は減価償却費を均等配分することがより適切であることから、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が14,479千円、営業利益が40,975千円、経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ41,058千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,047,770	2,874,927
受取手形及び売掛金	512,471	451,952
商品及び製品	1,363,523	1,785,999
前払費用	178,585	186,916
繰延税金資産	39,760	50,843
その他	152,376	217,556
貸倒引当金	△4,550	△3,342
流動資産合計	4,289,938	5,564,852
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,755,982	1,740,111
建物及び構築物(純額)	1,528,318	1,509,092
土地	881,217	881,217
その他(純額)	470,283	544,690
有形固定資産合計	4,635,802	4,675,111
無形固定資産		
のれん	436,056	401,933
その他	22,842	25,214
無形固定資産合計	458,899	427,147
投資その他の資産		
投資有価証券	125,800	73,282
建設協力金	595,916	536,971
差入保証金	1,155,729	1,069,654
繰延税金資産	91,204	80,859
その他	174,764	174,412
貸倒引当金	△7,131	△7,651
投資その他の資産合計	2,136,282	1,927,527
固定資産合計	7,230,984	7,029,786
繰延資産	26,347	17,225
資産合計	11,547,270	12,611,865



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,452,608	1,885,145
1年内返済予定の長期借入金	1,265,756	1,252,838
1年内償還予定の社債	579,500	500,000
1年内支払予定の長期割賦未払金	276,466	316,780
未払法人税等	34,691	50,641
資産除去債務	1,100	—
その他	318,129	415,766
流動負債合計	3,928,252	4,421,172
固定負債		
社債	345,000	500,000
長期借入金	2,858,991	3,206,421
長期割賦未払金	627,721	701,463
役員退職慰労引当金	66,182	82,728
退職給付に係る負債	93,394	103,652
資産除去債務	76,454	78,051
その他	221,620	222,671
固定負債合計	4,289,363	4,894,988
負債合計	8,217,616	9,316,161
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,479	1,500,623
資本剰余金	1,529,785	1,542,930
利益剰余金	202,752	138,447
自己株式	△38,795	△39,053
株主資本合計	3,181,221	3,142,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,640	—
その他の包括利益累計額合計	24,640	—
新株予約権	70,901	100,854
少数株主持分	52,890	51,901
純資産合計	3,329,653	3,295,704
負債純資産合計	11,547,270	12,611,865

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,154,751	13,163,697
売上原価	8,905,106	8,823,851
売上総利益	4,249,644	4,339,846
販売費及び一般管理費	4,011,949	4,179,424
営業利益	237,694	160,422
営業外収益		
受取利息	15,460	12,685
受取配当金	1,700	1,700
受取保険金	1,288	6,353
その他	4,692	3,797
営業外収益合計	23,141	24,536
営業外費用		
支払利息	54,778	49,112
支払保証料	16,174	9,387
持分法による投資損失	—	717
社債発行費償却	22,817	14,342
その他	17,259	11,554
営業外費用合計	111,030	85,113
経常利益	149,806	99,845
特別利益		
固定資産売却益	99	—
持分変動利益	13,278	—
投資有価証券売却益	—	36,675
その他	89	79
特別利益合計	13,467	36,754
特別損失		
固定資産除却損	234	24
減損損失	7,837	—
事務所移転費用	—	9,650
店舗閉鎖損失	3,198	43,180
特別損失合計	11,270	52,854
税金等調整前四半期純利益	152,002	83,745
法人税、住民税及び事業税	48,394	68,538
法人税等調整額	42,914	12,908
法人税等合計	91,309	81,447
少数株主損益調整前四半期純利益	60,693	2,298
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,617	△989
四半期純利益	57,075	3,287

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,693	2,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,235	△24,640
その他の包括利益合計	1,235	△24,640
四半期包括利益	61,929	△22,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,311	△21,352
少数株主に係る四半期包括利益	3,617	△989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。